



畑野 第17回 松ヶ崎連合運動会

6月4日(日)、松ヶ崎小学校グラウンドを会場に第17回松ヶ崎連合運動会が開催されました。当日は晴天に恵まれ絶好の運動会日和になりました。



「強き団結 みんなの熱気 心をひとつに優勝目指し力を出しきれ運動会」の大会スローガンのもと、保育園児からお年寄りまで出場しての真剣な競技に、会場に集まった約400人の選手・応援団は大いに盛り上がりました。



相川 幻想的宵乃舞に酔う見物客たち

佐渡金山と佐渡奉行所を結ぶメインストリートであった京町通りを舞台に「宵乃舞」が、6月2日・3日に行われました。



島内外から相川音頭流しの団体を集い、金山ロードの活性化と民謡本来のもつ楽しさを表現することを目的として、平成14年から始まったこの宵乃舞は今回で5回目となります。

今年は、島内外の12団体、250人が参加し、大勢の見物客に見守られながらの流しでした。宵闇の京町通りをすぎ、時鐘楼までくると、正面の日本海に浮かぶ船の漁火が、いっそう踊りを演出してくれました。



この日、観光視察で相川を訪れた泉田県知事も、この幻想的な宵乃舞に魅入っていました。

佐和田 みんなの力で、佐渡を美しく!!

さわやかな初夏を思わせる晴天の6月3日(土)に、佐和田海岸で「八幡・銀杏の会」を中心としたボランティア清掃が行われました。海岸には、漂流物や空き缶ばかりではなく、洗濯機、冷蔵庫やテレビの他、こんなものまで?と思うようなゴミが、捨てられていました。八幡小学校の児童や保護者たちも加わり、総勢250名がゴミ拾いに汗を流しました。



また、6月17日(土)にはボランティアネットワークの協力のなか、総勢150名が佐和田ダムの草刈を行いました。佐和田ダムは水面などを眺望できるビューポイントが各所にあります。見違えるように綺麗になった佐和田ダムに是非、足を運んでみてください。両日も暑い中での活動でしたが、ボランティアを終えた皆さんの表情は天気負けなく晴ればれとしていました。こうした、地域のみなさんによる美化清掃活動は、景観の維持



だけでなく、地域を愛し誇りに思う心の育成につながります。今、それぞれの活動をネットワークで結び、地域全体の取組としての輪を広げ、佐渡を美しい島にしていきたいものです。

真野 花と緑の町づくり ~竹田沖、真野新町商店街~

真野地区を訪れると「町がとってもきれい!」と思わず言うほど、沿道の花壇やプランターに植えられた花々が優しく迎えてくれます。「豊かな自然と歴史のまち」を彩る花々ですが、真野地区では「みどりの景観」の保護・育成を推進するため「美しいまちづくり緑化推進委員会」が中心となって活動しております。



今年も越の長浜のカンゾウの植栽をはじめ、5月31日には県道沿い竹田橋付近の花壇、また、6月16日には真野新町商店街のプランター・花壇に夏花の植替えを行いました。竹田は地区のボランティア「竹田長寿会」が、真野新町は地区の市民ボランティアや商工会員・緑化推進委員の方々が参加してくれました。今後、秋には冬～春花用の植替えを計画しており、訪れる人々を楽しませてくれそうです。



佐和田 鍛冶町まつり

6月8日(木)に中原神社の鍛冶町まつりが開催されました。朝早くから太鼓の音を響かせ、豆まきの鬼2匹おきなと翁おたかしよが中原、鍛冶町、東大通を門付けして回りました。御旅所では、「正調」(長めの舞)で太鼓に合わせ翁が能の流れをくむ動きで柔らかに舞い踊りました。鬼が舞の最後で声を張り上げ、勢い良くなきなた薙刀を振り下ろし邪気を払いました。また、かわいい子供みこしも元気いっぱい練習歩き、「ワッショイ!ワッショイ!」と一生懸命声を張り上げみこしを担いでいました。

夜遅くまで街中に太鼓の音が響きわたり、賑わいをみせていました。



金井 美しい花の時計で時間を守ってね

6月13日(火)、初夏の日差しがまぶしい中、金井地区で花時計とその周辺の花の植え替えが行われました。

金井中学校の生徒約60人と、ボランティア約30人が、色とりどりの4種の花を植えました。これは一口1,000円の「金井生き活き塾」の花基金で行われており、生徒もボランティアも額に汗をにじませながら、一つひとつ丁寧に花を植えています。色鮮やかに時を刻む花時計。まちを美しくしようとする、地域のひとたちの美しい気持ちがこの活動を支えています。



羽茂 羽茂まつり

6月15日(木)羽茂まつりが行われました。

祭りの当日は鼓笛隊や神輿、二つの大獅子に若手鬼太鼓と数々の出し物が披露されました。また、昔からの祭りを盛り上げようと今年からは若手有志によるインフォメーションスタッフを置くなど、新たな取り組みも行っています。

羽茂まつりの一番の見所は、共に県の無形民俗文化財に指定されている「太神楽つぶろさし」と「鬼舞つぶろさし」の二つのつぶろさしなど羽茂の郷土芸能を一度に、しかも身近に見ることができる点です。

今回は、残念ながら天気にも恵まれませんでした。島内外から羽茂まつりを一目見ようと訪れた観光客の歓声と各団体の参加者の活気あふれる掛け声が町中に響いていました。





真野 『海岸環境ボランティア隊』 ～真野・新町海岸～

遠浅で真野湾の夕日の美しさで知られる新町海岸ですが、今年も海岸清掃を5月下旬以降地元老人クラブをはじめ、会社・各種団体による海岸美化活動が展開されております。



6月18日(日)には佐渡南ロータリークラブ・佐渡ライオンズクラブ会員ほか市民ボランティアの方々による環境クリーン作戦が行われました。親子連れなど185名が参加し、ゴミ袋を片手に分別しながらの回収作業の一方で、砂に埋まった大きな木片等は重機の手を借りて掘起しました。

7月15日(土)には新町海水浴場、椿尾海水浴場がそれぞれオープンし、海水浴で賑わう光景が今から楽しみです。きれいになった砂浜には辺り一面『浜昼顔』の花がきれいに咲き誇っていました。



両津 両津まつり

6月15日(木)、16日(金)、夷本町商店街を中心に、両津まつりが行われました。

今年は雨天のため、残念ながら前夜祭の大綱引き大会は中止となったものの、翌日の本祭りには天候もすっかり回復し、絶好の祭り日和となりました。

本祭り当日は、大神輿行列渡御のほか、子供鬼太鼓・獅子舞、乙女舞などの伝統的な祭礼行事が行われ、商店街は祭り一色となりました。

夕方になるといよいよ祭りもクライマックスを迎え、勇壮な担ぎ手達が大神輿を担ぎ上げ商店街を練り歩き、子供達がそれに負けないくらい元気いっぱい子供神輿を担ぎ上げていました。

また東京両津人会による甚句の舞も披露され、祭りは見どころ満載で大いに盛り上がりました。



新穂 天神祭り

6月24日(土)25日(日)に新穂天神祭りが行われました。

全国的には大阪の天神祭りなどが有名ですが、この新穂の天神祭りも江戸時代から続いている伝統あるもので、鬼太鼓やお神輿、提灯行列が賑やかに街中を練り歩きます。

学問の神様、菅原道真を祀る祭りであることから、浴衣姿の子どもたちも提灯をぶらさげた笹を手に持って集まり、神輿の後ろについて元気いっぱい歩く姿に沿道から盛んに声援が送られました。

2日とも天候にも恵まれ、初夏のさわやかさを感じた祭りとなりました。



赤泊 火の用心 お願いします

6月25日、赤泊保育園・川茂保育園の年長組が、赤泊幼年消防クラブとして防火パレードを行いました。パレードはミニ消防車が

先導し、保護者や地域住民が見守る中赤泊の中心部およそ700m行われました。みんなおそろいの半纏を着て、カチカチと拍子木を鳴らしながら火の用心を呼びかけました。通り過ぎる車も園児達のかわいい姿に車を止め、声援を送っていました。途中、赤泊支所長からねぎらいのことばを受け、「火遊びはしない」「火を使うときは大人と一緒に」などの話を真剣な表情で聞いていました。その後、みんなで南佐渡消防大会に出席する消防団員の市中行進を見学しました。たくさんの消防車の列に園児から歓声が上がリ、以前にも増して防火意識が芽生えたようでした。



新穂

新穂潟上温泉ホテル祭り

きれいな川にしか生息できないといわれるホテルが、今年も新穂潟上の天王川流域に飛びはじめ、訪れた多くの方の目を楽しませています。

6月24、25日の両日には、潟上水辺の会による「新穂潟上温泉ホテル祭り」が開催され、会場となった潟上温泉駐車場には夜店が並び、生ビールや焼き鳥などを求める人で賑わいました。

また、8時過ぎになると、会場のそばではホテルが一斉に光を放ち始め、つかめるくらいに近くを飛び交う姿に、あちこちで歓声があがっていました。

例年7月中旬まで楽しめるそうですが、ここは県道から入ってすぐのところホテルが見られますので、来年、近くにおいでの際は、ちょっと寄り道してこのすばらしい光景をご覧ください。



赤泊

爪の沢キャンプ場開き・ 爪の沢牛肉祭り

民話「爪の沢の蝶ねえ」で知られる、爪の沢キャンプ場で「爪の沢キャンプ場開き 親子ウォークラリー大会」と「第19回 爪の沢牛肉祭り」が6月25日に開催されました。親子ウォークラリー大会は、小学生以下の親子35名が牛肉祭りの入場券を目指してウォークラリーに挑戦しました。出題されたクイズは、様々なジャンルから出され、「サッカーワールドカップの出場国を10カ国答える」など難しいものもありました。その後行われた爪の沢牛肉祭りには、約200名の参加者が佐渡牛に舌鼓を打ちました。今回は肉も野菜も地元産、牛乳、ご飯のサービス、また、長岡市寺泊地区のよさこいグループ「そーらんWAVE寺泊」のよさこいで、中身がぎゅぎゅっと詰まった会となりました。この日用意された牛肉は100kgで、全て参加者のお腹に入ったということです。



小木

2006 水中七夕まつり

佐渡の海をこよなく愛する、島内外から50名のダイバー達が集まり、水中七夕まつりが7月2日(日)に小木琴浦海岸で開催されました。前日の雨による濁りが心配されましたが、海の水は綺麗で透明度も良く、水中に設置された笹飾りには、短冊が次々に飾られ、ダイバー達は夏色の海に変化した海中を、心ゆくまで散策し楽しんでいました。このイベントでは、地物を使った豪華な昼食がダイバー達に人気を呼んでいます。地元の方々の手料理で、さざえのつぼ焼き・刺身・焼き魚や朝採り野菜のサラダ・煮物に肉料理など、お腹いっぱいになるまで楽しんでいました。佐渡の美しい海を多くの方に知ってほしい、楽しんでもらいたいとの発案で始まったこの水中七夕まつりは、平成2年から開催されており、今年で17回目を迎えました。「これからもずっと綺麗な海で、皆さんが安全にダイビングを楽しめるように」と書かれた願い事はきっと叶えられ、これからも20年…と続いて行くことと思います。



◀佐渡の海がいつでも綺麗でありますように!

第7回 野浦・芸能の里フェスティバル

ふるさとの芸能をとくにご覧あれ

と き/7月23日(日)
12:00~15:30

ところ/野浦伝統芸能伝承館

○春駒・佐渡民謡・舞踊・文弥人形
○特別出演:
兵庫県淡路島三原中学校 人形浄瑠璃



★おいしさもいっぱい!!

(イカ浜焼き・サザエ壺焼き・おにぎり・焼きそば・
郷土料理各種・飲み物各種)

お問い合わせ/野浦芸能の里フェスティバル実行
委員会 ☎29-2416 (羽豆重則)

~夏の彩典2006~たかち芸能祭

と き/8月13日(日) 19:00~21:00

ところ/市立高千中学校グラウンド(雨天:同体育館)

出演/高千地区各集落の皆さん ほか
内容/佐渡百選にも選ばれている
「鬼太鼓」・「小獅子舞」や「豆まき」など
春祭りで見られない伝統芸能の数々
を堪能していただけます。



お問い合わせ/「たかち芸能祭」実行委員会

HP URL

☎77-2555 弾正まで

http://blog.goo.ne.jp/takachi_geinousai

※「ゆめ夢飛行~市長随想~」はお休みです。

